

## 中学校給食に関するアンケート調査結果について

みだしの件についてアンケート調査を実施しましたのでご報告いたします。

### 記

#### 1. 目的

本調査は明石市の中学校給食について生徒が給食を食べる中でどのような意見を持っているかを明らかにし、今後の給食提供や食育に生かしていくことを目的としている。

#### 2. 調査期間

平成31年2月5日(火)～平成31年2月28日(月)

#### 3. 調査対象

明石市立13中学校の各学年1クラスを抽出 生徒合計1,294名

#### 4. 調査方法

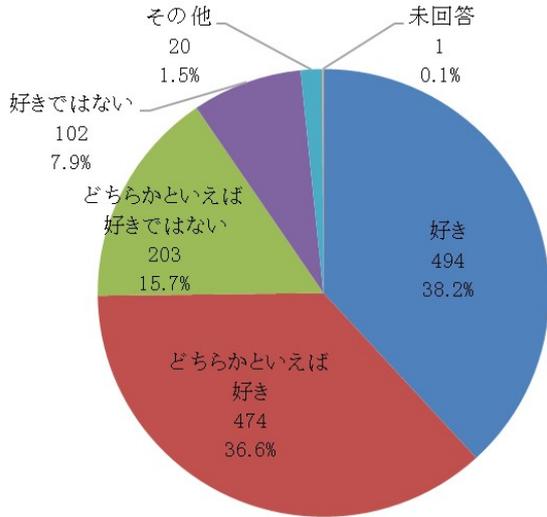
アンケート用紙を市内13中学校へ送付  
各校でアンケート調査後、学校給食課へ返送

#### 5. 中学校給食に関するアンケート調査結果

別紙1のとおり

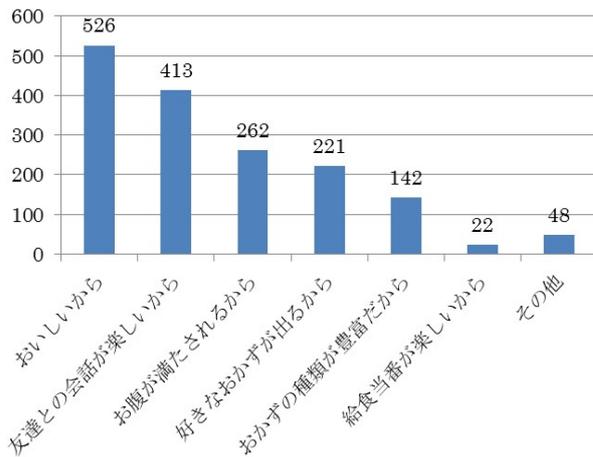
中学校給食に関するアンケート調査結果

Q1 給食は好きですか。

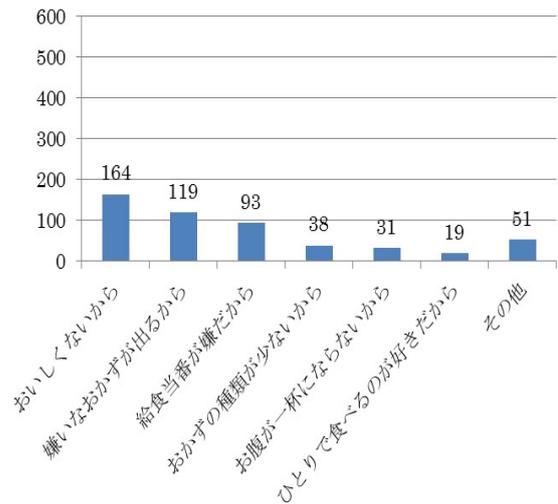


給食について、生徒の74.8%が「好き」「どちらかといえば好き」と回答しており概ね好意的に受けとめられていると推察される。一方で、23.6%が「どちらかといえば好きでない」「好きでない」と回答している。

Q1-1 「好き」「どちらかといえば好き」と回答した理由（複数回答可）

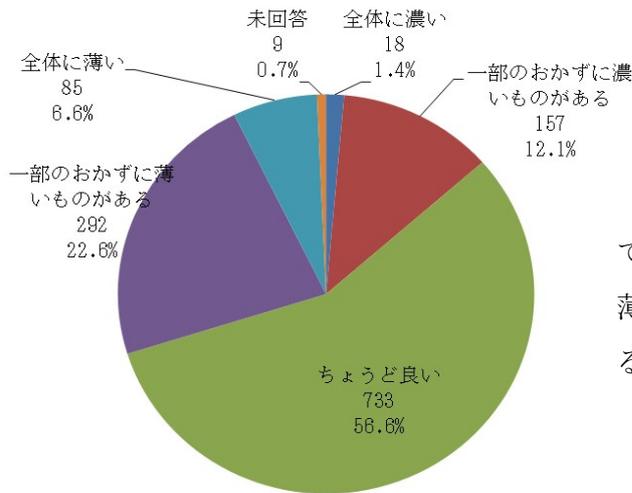


Q1-2 「好きでない」「どちらかといえば好きでない」と回答した理由（複数回答可）



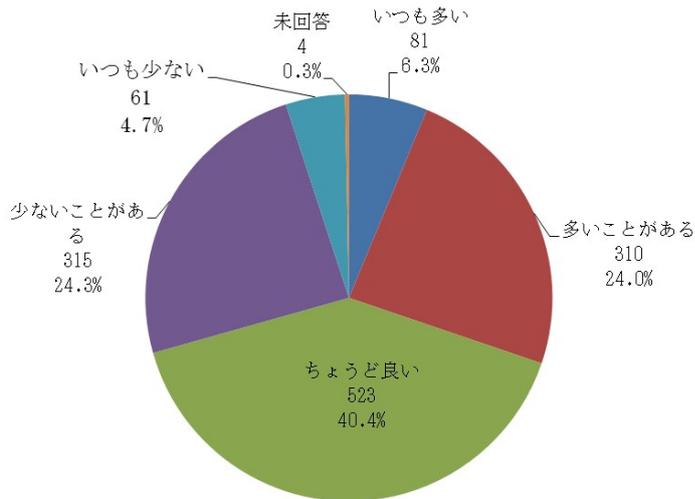
「好き」「どちらかといえば好き」と回答した生徒の理由としては、「おいしいから」が526人と最も多かった。また、「どちらかといえば好きでない」「好きでない」と回答した生徒の理由も、「おいしくないから」が164人と最も多かった。

Q2 給食では削り節や昆布、煮干しから汁物の出汁(だし)を取っています。給食の味付けはどうか。



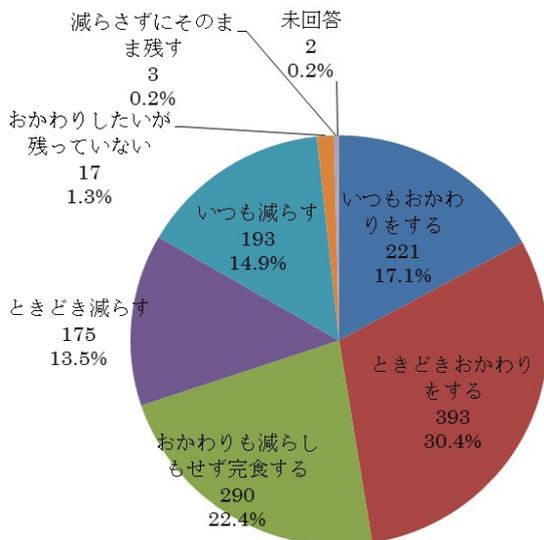
過半数の生徒が「ちょうど良い」と評価している。一方、濃いと感じている生徒より、薄いと感じている生徒の方が多くなっている。

Q3 給食当番から配られる給食の量はどうか。



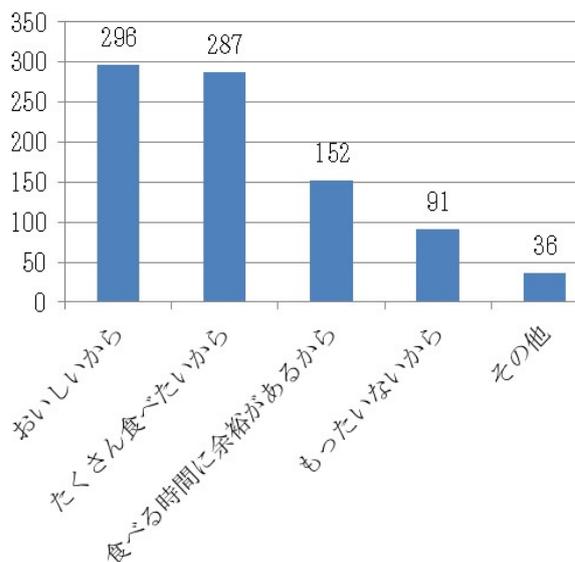
「ちょうど良い」が最も多く、多目に感じている生徒と少な目に感じている生徒の数はほぼ同じであることから、生徒が期待する量の平均的な量が最初に配られていると推察される。

Q4 おかわりをしますか。

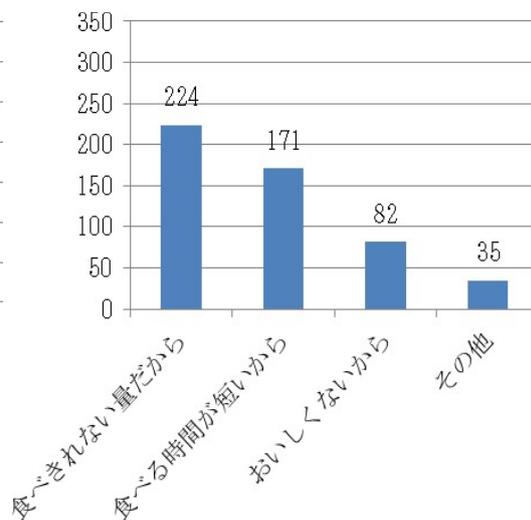


「いつもおかわりをする」「ときどきおかわりをする」の合計が614人、「おかわりしたいが残っていない」が17人という結果から、最初の配食で量が少なく感じた生徒も、おかわりにより概ね量が補えていると推察される。

Q4-1 おかわりをする理由（複数回答可）



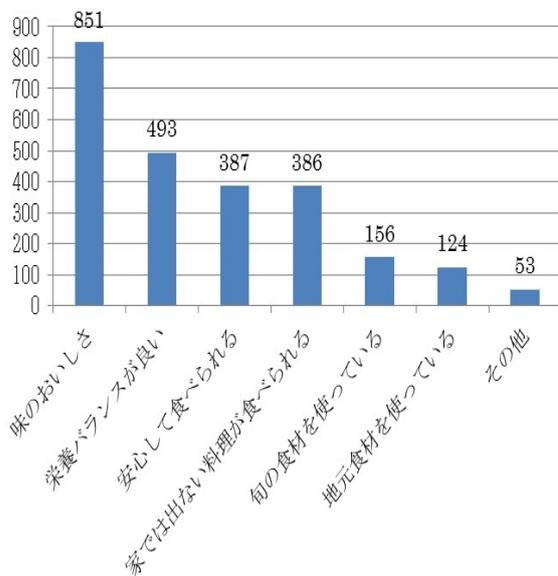
Q4-2 減らす理由（複数回答可）



おかわりをする理由として「おいしいから」が298人と最も多いのに対し、配食されたおかずやご飯を減らす理由として「おいしくないから」は82人と3番目である。

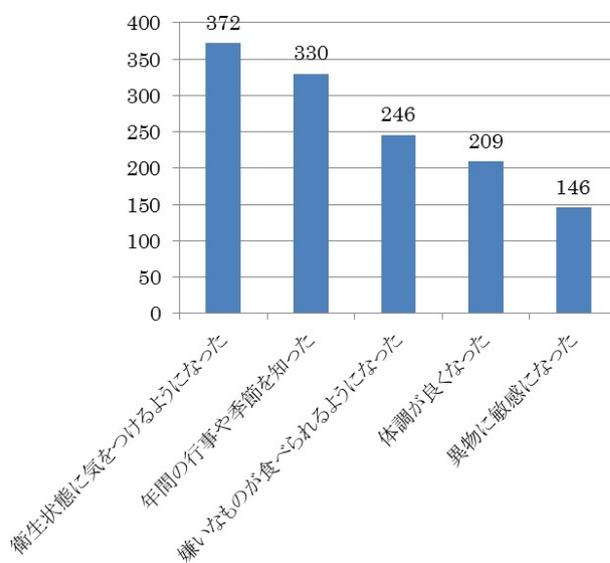
Q5 給食に期待することは何ですか。

（複数回答可）



Q6 給食を食べるようになって日常生活

に変化は感じられますか。（複数回答可）



## 【まとめ】

- 味については一定の評価は得ているものの、「味のおいしさ」にさらなる期待が寄せられている。生徒のニーズを可能な限り満たせるよう継続的に研究や工夫を重ねていく。

また、味の濃淡については、学校給食摂取基準（塩分について規定有）があることや、素材の味を感じられるように、また生涯健康的な生活を送るために、塩分等を抑えた薄味であってもおいしい給食を目指しており、その理解を得られるよう取り組む必要がある。

- 量については、配食後に各自で概ね調整が行えている。今後も、適正な量が配膳されるよう給食運営に努めていく。
- 社交性の醸成や、衛生管理や食文化の認識の深まり、偏食の克服といった効果が見られ、給食の実施が食育に寄与している。
- 給食については概ね好意的に受け止められているが、さらに高い評価が得られるよう、今後も研究を継続していく。
- アンケートを通して把握した生徒の声や学校給食の目標等を踏まえながら、今後も、安全安心な給食を最適な栄養バランスで提供することはもちろん、よりおいしく食べてもらえる給食を目指していく。